



# JAPAN HOUSE

---

SÃO PAULO

---

LONDON

---

LOS ANGELES

JAPAN HOUSE 実施報告書

———2020年2月———

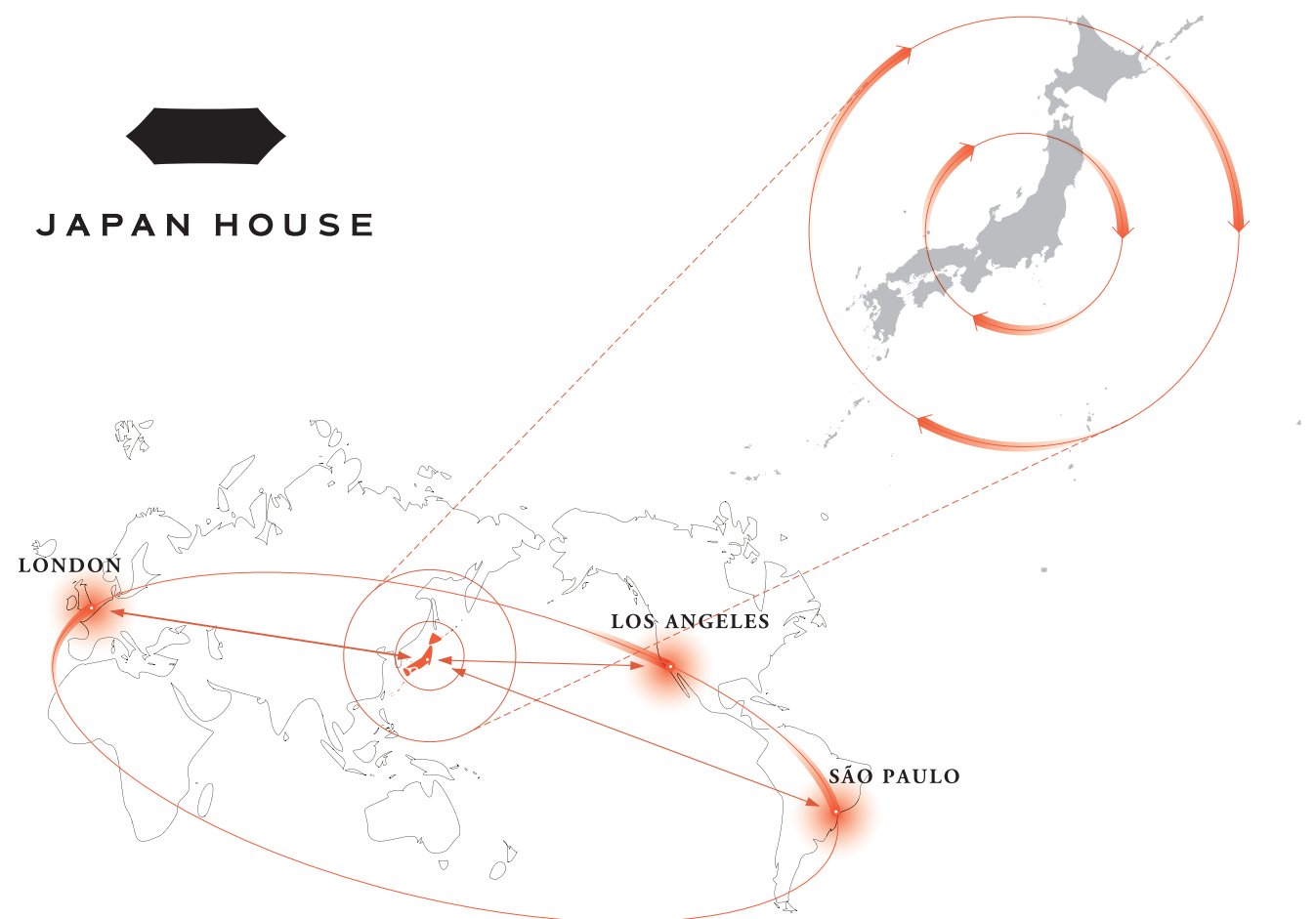
## 未来資源としての日本とその活用。

原 研 哉 | JAPAN HOUSE 東京事務局クリエイティブ・アドバイザー

JAPAN HOUSEは、「日本を知る衝撃を世界へ」というコンセプトワードに集約される通り、日本のことなど考えたこともない人々、日本を知っている気になっている世界の人々に対して、新鮮かつ衝撃的に日本への興味・共感を呼び覚まし、世界における日本の存在感を高めていく海外拠点事業です。

サンパウロ、ロンドン、ロサンゼルス の3都市を拠点に、エキシビジョン、物販、飲食、書籍／web、カフェ、多目的スペースなどを融合させ、大衆文化の熱、ハイテクノロジーの実力、多様な食の魅力等を具体的に紹介・提示し、充実した成果を上げています。

さらに充実した活動を生み出していけるよう、それぞれの施設の主体性を確立し、日本国内に統合的に広報し、日本の意欲・才能・能力ある人々に「JAPAN HOUSEは有効な拠点、ぜひ利用したい」と思わせる情報流通の仕組みづくりを整備し、今後もこのペースを持続します。







2017年4月の開館から3年目を迎えたサンパウロでは、建築、技術、食、ファッション、芸術など様々な日本の魅力をテーマに展示企画を展開。2019年4月から7月には、47都道府県の職人の作品を通じて日本の伝統や歴史を紹介しました。また、現地の県人会の協力を仰いで実施した各都道府県の連動型セミナーも好評を博しました。日本の政策・取組の発信では、日本の外交政策、日伯関係、経済協力、科学技術、サッカー交流など様々な分野の講演会を実施しています。物販・飲食事業も好調であり、特に飲食においては、サンパウロ主要紙が選ぶ「ベスト・シェフ・オブ・ザ・イヤー」に女性として初めて選出された白石テルマ氏が腕を振るう日本食レストラン「藍染」が2019年4月にオープンし、日本の食文化の発信に努めています。

2018年6月に開館したロンドンでは、日本古来の技術をテーマにした展示から、最新技術を駆使した作品まで、幅広く企画展示を行っています。2019年春には、「日本の伝統色」をテーマにした展示を開催。「安野光雅」展では、画家自身の人生にフォーカスし、昭和という時代を展示やワークショップなど様々な手法で表現することに成功しました。また、現在開催している展示では、東北の郷土玩具をテーマにした映像インスタレーション作品及び東京の風景をテーマにした全天球モーショングラフィックスを展示するとともに、館内のショップにて東北地方で制作された伝統玩具を販売し好評を博しています。また、日本の政策・取組の発信に関して、国際関係、震災復興、日英投資促進、科学技術などの分野の講演会やセミナーを実施しています。





## JAPAN HOUSE LOS ANGELES

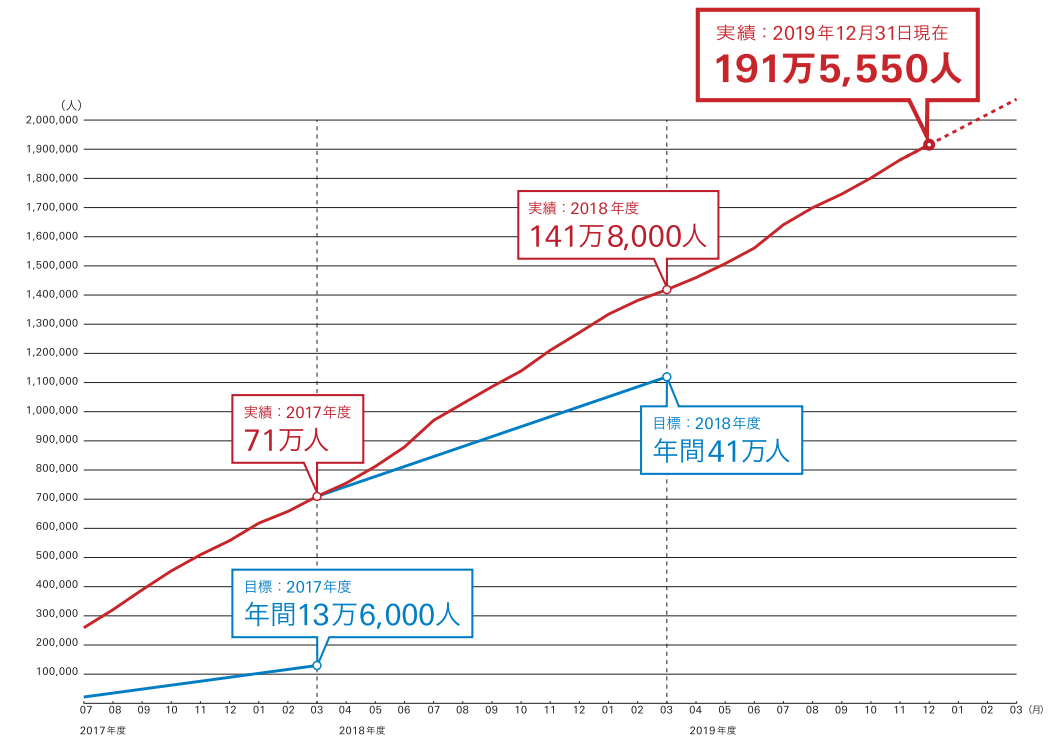
2018年8月に全館が開館したロサンゼルスでは、現地の人から観光客までが来館する特性を活かし、幅広い層に向けた発信事業を行っています。2019年は、映画産業の中心であるハリウッドの地域性を活かし、現地の映画祭と連動した日本映画の上映や日本の監督とのトークセッションを通じて、より多角的に日本の魅力を発信してきました。食事業にも力を入れており、現地で話題の「発酵」や「うまみ」をテーマに開催したワークショップは、非常に好評を博しています。また、日本の外交政策、日米関係や女性の活躍などの講演会、政府関係機関や地方公共団体と連携した東北復興イベントを通じた、震災後の東北地方の姿や米国地方自治体との交流事例の発信、東北地方の祭りや伝統行事を紹介した「BAKERU」展と連動した東北の食文化の紹介もしました。

## JAPAN HOUSE 来館者数

### サンパウロ

開館：2017年4月

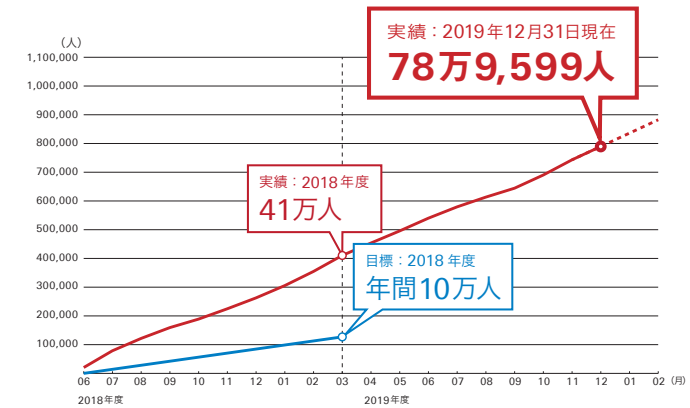
開館から3年目を迎えたサンパウロ。既に市内の主要文化施設として認知されており、累計来館者数200万人達成を目前としている。



### ロンドン

開館：2018年6月

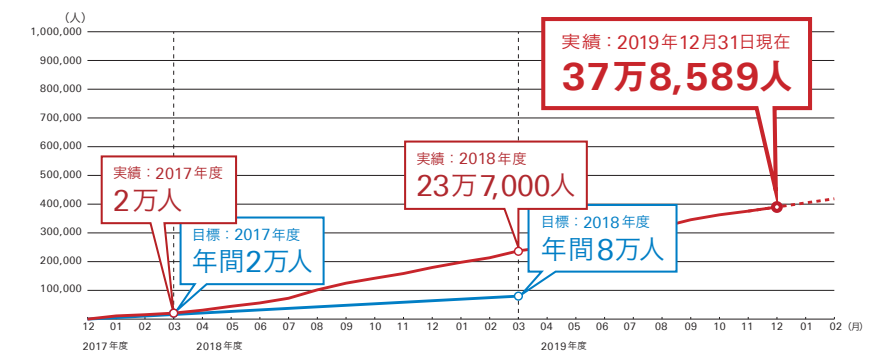
開館2年目も堅調な増加傾向にある。2019年には、デザインミュージアムと連携して、ケンジントンハイストリートの道路に横断歩道のアートを設置した。



### ロサンゼルス

開館：2017年12月

2018年の全館開館後は特に、着実に来館者数を伸ばし、2019年も順調に増え続けている。





# JAPAN HOUSE

## 継続と充実に向かうための5つの要点

### 1

#### エンジンとしての巡回企画展／現地企画展の充実

JAPAN HOUSEの情報発信性と集客力を生み出すのは「巡回企画展／現地企画展」。  
これがJAPAN HOUSEの変化と活力をも同時に生み出します。  
重要なのは、いかに魅力的なエキシビションを構想・編成・実現できるかです。  
この点に関しては、日本文化に対する多角的なアンテナ、幅広い人脈、  
そして創造的な構想力と、的確・緻密な実現力が不可欠です。

### 2

#### 国内向けの広報の充実

日本の意欲・才能ある人々にJAPAN HOUSEの存在を知ってもらい、  
「JAPAN HOUSEは使える」、「非常に有効な発信拠点」という明快な認識を  
持ってもらうことが肝要です。そのために、日本向けの広報の充実が必要です。  
各3拠点の実績・成果・予定を定期的に集約整理し、  
日本のJAPAN HOUSEのポータルサイトに掲載していきます。

### 3

#### 拠点別サイトの自立運営を助ける、フォーマットの整備

サイトを現地事務局が独自かつ自在に運営していくことで施設運営に自発性や活性が生まれ、  
鼓動を生き生きと伝えることができます。しかし、サイトの運用法が拠点ごとにばらばらであると、  
印象が散漫になり、JAPAN HOUSEの統合性、求心力を失いかねません。  
したがって、自在に使いこなせつつ、JAPAN HOUSEとしての統合性のある  
運用フォーマットの整備に着手しています。

### 4

#### 日本の深部へ世界の興味を誘導する

高い付加価値を求める訪日客を増やすこと、興味の対象を日本の深部へと導くことが  
世界の動向に相即する日本のインバウンド産業の高度化にとって不可欠です。  
JAPAN HOUSEを通して、日本への来訪意欲を加速するために、  
文化や習慣・社会の諸相を見やすいかたちに編集し、情報の提供を行っていきます。

### 5

#### 物販データベースの拡充

ハイテクノロジーから伝統工芸まで物販の幅はさわめて広域です。  
一方で、解釈の甘いものや、販売実績を上げるためのキツチュはあえて置かない方針を  
JAPAN HOUSEはとっています。そのためには、できるだけリーズナブルな価格で  
品質の良いものを日本全国からピンポイントで調達できる商品供給ルートの確保が必要です。  
伝統工芸品については、どの地域の、どの作家が、どの程度の品質の製品を  
どんな量で生産できるかを把握していきます。

#### 巡回企画展 第一期

サンパウロ  
2017年11月21日ー2018年3月4日  
  
ロンドン  
2018年6月22日ー8月5日  
  
ロサンゼルス  
2018年10月27日ー2019年1月6日



藤本壮介展 未来の未来  
Sou Fujimoto: FUTURES OF THE FUTURE

企画者：TOTOギャラリー・間

サンパウロ  
2017年7月29日ー9月10日  
  
ロンドン  
2018年11月13日ー12月24日  
  
ロサンゼルス  
2018年4月13日ー5月23日



TAKEO PAPER SHOW SUBTLE  
ー かすかな、ほんのわずかの

企画者：株式会社 竹尾

サンパウロ  
2018年3月27日ー5月20日  
  
ロンドン  
2019年1月16日ー3月17日  
  
ロサンゼルス  
2018年8月17日ー10月10日



Prototyping in Tokyo

企画者：東京大学生産技術研究所  
山中研究室

#### 巡回企画展 第二期

サンパウロ  
2019年10月29日ー2020年1月5日  
  
ロンドン  
2019年6月5日ー7月28日  
  
ロサンゼルス  
2019年1月23日ー3月28日



浦沢直樹ー漫画という芸術ー  
This is MANGA ー the Art of NAOKI URASAWA ー

企画者：読売新聞社  
© Naoki URASAWA

#### 巡回企画展 第三期

サンパウロ  
2021年3月開幕予定  
  
ロンドン  
2020年4月16日ー6月28日  
  
ロサンゼルス  
2020年9月ー11月(予定)



窓学 ー 窓は文明であり、文化である ー  
WINDOWOLOGY

企画者：一般財団法人 窓研究所



## 各拠点での企画展

JAPAN HOUSEは、内容のしっかりとしたコンテンツを、常態的に受け入れる現地側の体制と、海外3拠点を情報発信拠点として活用しようとする日本側の能動性がかみ合うことでプロジェクトが形成されています。

3都市の拠点には、館長や局長がおり、現地では彼らが中心となり、施設運営の姿勢、開催する展覧会の吟味等において管理をしています。

ギャラリーで開催される展覧会は、日本での公募を経て選出された「巡回企画展」と各拠点で企画・制作された「現地企画展」があります。各都市の企画展は互いに利用し合い、生き生きとした情報発信力のある展覧会により日本と3拠点に脈動と連携が生み出されてきています。いずれの展覧会も、ハイカルチャーからサブカルチャー、ハイテクノロジーにも正面から向き合います。

JAPAN HOUSE  
São Paulo

名誉館長：ルーベンス・リクペロ  
館長：マルセロ・アラウージョ  
副館長・事務局次長：カルロス・アウグスト・ホーザ  
企画担当局長：ナターシャ・バルザーギ・ジーン  
運営担当局長：クラウジオ・ハジメ・クリタ  
経理担当局長：ヒカルド・フェハス

JAPAN HOUSE  
London

館長：マイケル・フリーハン  
企画局長：サイモン・ライト  
経営企画局長：キャロリン・バーネット  
ファイナンス・コンプライアンス局長：ジェリー・ロイ  
マーケティング・コミュニケーションズ局長：ハイディ 伊佐

JAPAN HOUSE  
Los Angeles

館長：海部優子  
名誉顧問：ラリー・エリソン  
PR / マーケティング局長：ミレーナ・リマッサ

JAPAN HOUSE São Paulo、D&DEPARTMENT PROJECT企画

NIPPONの47人  
CRAFT

2019年4月23日—7月25日  
来場者数：180,531人

日本に続く伝統を、47都道府県から47人の職人らの作品を通して伝える展示。  
47人の職人による制作プロセスを通じ、数千年にわたる日本の歴史を振り返りました。



国際交流基金企画 / JAPAN HOUSE São Paulo 協力

グラフィックデザイン  
7人の巨匠

2019年5月10日—6月23日  
来場者数：74,078人

販売促進のための媒体として制作されることが多いポスターですが、なかには平和や環境保護を啓蒙することを目指して作られるものもあります。本展ではポスターとしての多様性を表現しながら、浮世絵を想起させる作品などバラエティに富んだ内容の展示を実施しました。





JAPAN HOUSE São Paulo 企画 / ブラジルいけ花協会 協力

DO（道）  
— 平静の極みへ

2019年6月29日— 8月4日  
来場者数：96,008人

草花を日本独自にアレンジする芸術  
「華道」の展示紹介を通じて、  
日本の伝統的な「DO（道）」への  
歴史、技術、精神を紹介する展示。



JAPAN HOUSE São Paulo 企画

NUNO  
— 現代を生きる布の詩（うた）

2019年8月20日— 10月27日  
来場者数：121,305人

繊維・布に精通し、様々なテキスタイルを  
発表してきた須藤玲子氏によるアートを通じて、  
日本の繊維・布に対する興味を促しました。



JAPAN HOUSE São Paulo 企画 / TOTOギャラリー・間 協力

田根剛 未来の記憶  
Archaeology of the Future  
Memory and Vision

2019年8月6日— 10月13日  
来場者数：121,506人

日本の建築の裏にある「日本の生活」、  
そこから生まれた建築を紹介。  
発想に至った背景、建築によって創造された  
変化などを紹介することで、  
建築を通じた日本社会への視点を発信しました。



JAPAN HOUSE São Paulo 企画

CHIHARU SHIOTA  
“Internal Line”

2019年11月13日  
— 2020年2月2日 開催中

現代美術家塩田千春氏によるインスタレーション。  
人がこの世に生を受ける時に持ち合わせていると  
言われている「運命の赤い糸」をモチーフに、  
個々人が持っている赤い糸が  
世の中に繋がっていく様を表現しています。





JAPAN HOUSE London 企画 ／ 染司よしおか 協力

LIVING COLOURS: KASANE  
— THE LANGUAGE OF JAPANESE  
COLOUR COMBINATIONS  
かさねの森 染司よしおか

2019年4月5日—5月19日  
来場者数：22,850人

日本の美しい伝統色と季節の移り変わりの  
繊細さを表現した染織作品。本展では、京都で  
200年以上続く染屋「染司よしおか」の染織作品を  
展示。吉岡幸雄氏は、老舗の染屋を継いでから、  
それまで使用していた化学染料を廃し、植物など  
の天然染料で染色する作品を生み出してきました。



JAPAN HOUSE London、復興庁 企画

復興庁イベント  
Our Road to Recovery

2019年6月25日—7月2日  
来場者数：218人

東日本大震災から8年が経ちました。  
ジャパン・ハウスは復興庁と協力し2011年の出来事に  
追悼の意を込めて地元の復興の様子を綴る東北の  
住民を招致し、種々の公開講演会を開催。各講演では  
それぞれに異なる復興活動に寄与し、地域に新しい  
命と活力をもたらす活動がとりあげられました。



JAPAN HOUSE London ／ 産経新聞社 企画

Anno's Journey:  
The World of Anno Mitsumasa  
安野光雅の世界

2019年8月22日—10月27日  
来場者数：31,468人

多数の絵本を世に送り出してきた安野氏の、初期  
から近作までの作品100点あまりを展示しました。  
豊かな知識と卓越したセンスで描いた、  
水彩スケッチ、日本画、絹に描かれた繊細な  
原画や切り絵など様々な作品を紹介。  
安野氏の作品が英国で展示されるのは初。



JAPAN HOUSE London 企画 ／ WOW 制作

WOW: City Lights  
and Woodland Shade  
都市の光、郷の灯

2019年11月21日  
— 2020年3月22日 開催中

ビジュアルデザインスタジオWOWの英国での  
初出展。東京の夜景を全天球型ムービーで映し出す  
映像インスタレーション『Tokyo Light Odyssey』  
は日本の「都市の未来」を、『POPPO』は東北の  
郷土玩具をモチーフに日本の「地方の永遠性」を  
表現した体験型デジタルアート作品です。





JAPAN HOUSE Los Angeles 企画、Hollis Goodall (LACMA) 協力

KESHIKI  
— The Landscape Within

2019年4月17日—6月20日  
来場者数：27,395人

ゴードン・ブロードフューア氏の現代陶芸作品  
コレクションを通じて、日本各地の特徴的な  
陶磁器を紹介しました。器の「景色」と呼ばれる  
釉薬の溜まりや焦げ跡、ひび割れ、くぼみなど、  
焼成の工程で生じた自然の不完全さを楽しむ展示会。



JAPAN HOUSE Los Angeles 企画、D&DEPARTMENT PROJECT 協力

JAPAN 47 ARTISANS

2019年10月30日  
— 2020年1月5日  
来場者数：24,198人

D & Department Project 代表ナガオカケンメイ氏が  
掲げるテーマ「Long Life Design」のもと  
47都道府県から集めた工芸品の紹介。日本の伝統と  
イノベーション、全国各地の気候風土の中で  
はぐくまれてきた様々な個性を感じとってもらいました。



JAPAN HOUSE Los Angeles 企画、WOW 協力

BAKERU  
— Transforming Spirits

2019年7月17日—10月20日  
来場者数：56,665人

ビジュアルデザインスタジオ WOW による  
インタラクティブなデジタル技術を用い、  
日本の伝統文化への理解を深める4つの郷土芸能を  
モチーフとした映像インスタレーション作品を紹介。  
「化ける」という行為を通して日本の郷土芸能の  
神秘的な世界へと来場者をいざないました。



JAPAN HOUSE Los Angeles 企画、Intertrend Communications デザイン、飛騨産業・高山市教育委員会協力

HIDA  
— A Woodwork Tradition  
in the Making

2020年1月16日—4月12日  
開催中

伝統を受け継ぎ、継承していくために進化を遂げ  
1300年以上も続いている「飛騨の匠」に焦点を当て、  
彼らがおこなう技や創り出すものを通して、  
日本のものづくりに対する心と美意識を紹介。  
世界に市場を拓ける日本の家具のこころいきを  
表現しています。







## JAPAN HOUSE

JAPAN HOUSE São Paulo  
Av. Paulista, 52 - Bela Vista,  
São Paulo - SP, 01310-000, BRASIL  
<https://www.japanhouse.jp/saopaulo/ja/>

JAPAN HOUSE London  
101-111 Kensington High Street,  
Kensington, London W8 5SA, UK  
<https://www.japanhouselondon.uk/>

JAPAN HOUSE Los Angeles  
Hollywood & Highland 6801 Hollywood Blvd.  
Level 2 and 5 Los Angeles, CA 90028, USA  
<https://www.japanhouse.jp/losangeles>

ジャパン・ハウス東京事務局（外務省大臣官房戦略的対外発信拠点室）

クリエイティブ・アドバイザー 原 研哉

株式会社電通 | サンパウロ

ジョーンズ ラング ラサール株式会社（～2019年6月）、

Japan H. L. Limited | ロンドン

株式会社 ESP（～2019年6月）、

株式会社電通ライブ | ロサンゼルス

[www.japanhouse.jp](http://www.japanhouse.jp)



